



錦町議会だより

# ほろび



2015. NO

113



## 目次

- 定例会・臨時会 ..... 2～3
- 議会トピックス ..... 4
- 9人が一般質問 ..... 5～13
- 傍聴席から一言 ..... 14
- 軌跡 ..... 14

五月晴れに恵まれた西小運動会

# 6月定例会

平成27年第2回定例会は、6月15日から22日までの8日間の日程で行われ、平成27年度各会計当初予算、平成26年度各会計補正予算、条例改正等22件が上程されました。平成27年度の各会計補正予算は、初日に町長から提案理由の説明があり、22日に質疑・採決を行い、いずれも原案のとおり可決しました。平成26年度の各会計補正予算の専決処分は、年度末に確定する起債、歳出確定による調整ということによって原案のとおり承認しました。条例改正等についても、いずれも原案のとおり可決しました。また、条例改正等についても原案のとおり可決しました。今回の一般質問には、9人が登壇し、執行部の考えを質しました。

## 条例改正等

- ① 錦町税条例等の一部を改正する条例（専決分）  
地方税法等の一部改正に伴い改正するもの
- ② 錦町国民健康保険税条例の一部を改正する条例（専決分）  
国民健康保険法施行令の一部改正に伴い改正するもの
- ③ 錦町国民健康保険税条例の一部を改正する条例  
税率の改正に伴うもの（均等割、所得割の引上げ）
- ④ 錦町介護保険条例の一部を改正する条例  
低所得者の保険料軽減強化のため、介護保険法等の改正に伴うもの
- ⑤ 錦町基幹型介護予防拠点施設設置条例の一部を改正する条例  
施設の利用や指定管理者の指定に関する規定の追加に伴うもの
- ⑥ 錦町学校給食センター設置条例の一部を改正する条例  
学校給食センター所在地番の改正に伴うもの
- ⑦ 錦町議会委員会条例の一部を改正する条例  
「錦町議会議員の定数を定める条例」の一部改正に伴い、名称の変更や委員定数等を改正するもの
- ⑧ 平成26年度錦町一般会計繰越明許費繰越計算書
- ⑨ 平成26年度錦町下水道特別会計繰越明許費繰越計算書

## 報告

- ① 平成26年度錦町一般会計繰越明許費繰越計算書
- ② 平成26年度錦町下水道特別会計繰越明許費繰越計算書

## 人事案件

人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

住所 錦町大字木上西  
1074番地1  
氏名 外村 清昭

住所 錦町大字木上北  
1718番地2  
氏名 尾方 真理子

固定資産評価員の選任について

住所 錦町大字木上北  
1718番地2  
氏名 尾方 真理子

## 第2回臨時会

平成27年7月6日に行われ、平成27年度一般会計補正予算などの2議案が上程され、いずれも原案のとおり可決しました。

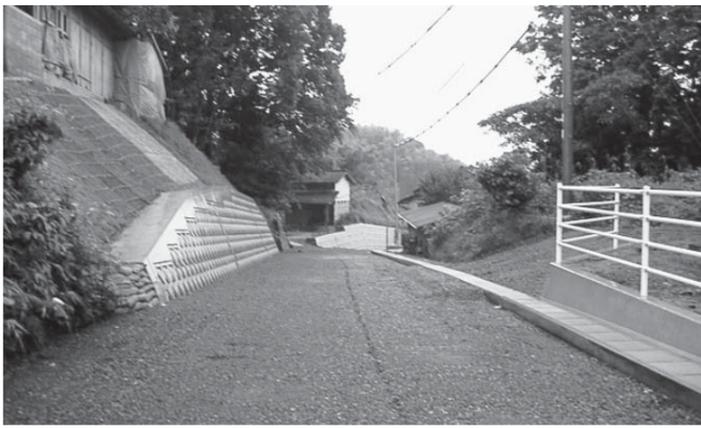
## 常任委員会の活動

### 《建設経済常任委員会》

平成26年度の繰越予算で執行中の2箇所の工事現場を視察。また、農作物の獣類被害の状況も視察した。

### ・町道一丸久保線道路改良工事

2工区目を施行中で6月末までの工事完了に向け、最終段階の路床置換工事が行われていた。道路



面の強度を強くするため、粘性土を取り除き、岩砕を約60センチ埋め戻し後、締め固めを行うとのことであった。

### ・錦大橋上部工解体撤去及び河川内土木工事



昨年から取り組んだ1期工事で、既に上部工撤去は4径間分が完了。橋脚2基の補強工事が行われており、コンクリートを増し厚するた



めの型枠が施され、コンクリート打設後の養生が行われていた。・農作物の獣類被害  
一武中島地区で鹿の食害にあった水稲の状況を視察。当該地区は、鳥獣対策のネットを設置してあるにも係わらず食害に遭っており、対策の難しさを実感した。今後、各町村が連携して対策を講ずることを要望する。

平成26年度 各会計当初予算の状況

会計名	当初予算	3月専決	計
一般会計	54億7,306万円	△2,993万9千円	54億4,312万1千円
国民健康保険特別会計	15億340万1千円	△497万1千円	14億9,843万円
介護保険特別会計	9億9,393万4千円	△1,855万2千円	9億7,538万2千円
後期高齢者医療特別会計	9,686万6千円	△315万7千円	9,370万9千円
簡易水道特別会計	2億3,922万5千円	△11万5千円	2億3,911万円
下水道特別会計	2億8,219万8千円	△150万7千円	2億8,069万1千円
計	31億1,562万4千円	△2,830万2千円	30億8,732万2千円
合計	85億8,868万4千円	△5,824万1千円	85億3,044万3千円

平成27年度 各会計当初予算の状況

会計名	当初予算	5月専決	6月定例	7月臨時	計
一般会計	43億7,492万3千円	180万円	4億550万5千円	384万1千円	47億8,606万9千円
国民健康保険特別会計	16億7,430万6千円	0	△773万4千円	0	16億6,657万2千円
介護保険特別会計	9億8,012万9千円	0	3,186万5千円	0	10億1,199万4千円
後期高齢者医療特別会計	9,551万9千円	0	0	0	9,551万9千円
簡易水道特別会計	1億7,641万6千円	0	7,913万8千円	0	2億5,555万4千円
下水道特別会計	1億8,314万5千円	0	1億2,440万5千円	0	3億755万円
計	31億951万5千円	0	2億2,767万4千円	0	33億3,718万9千円
合計	74億8,443万8千円	180万円	6億3,317万9千円	384万1千円	81億2,325万8千円

## 九州武蔵精密株式会社を表敬訪問

6月11日（木）、議会議員で一武の九州武蔵精密株式会社を訪問しました。

松本直弘代表取締役社長挨拶の後、会社概要の説明を受け、工場内の視察を行いました。松本社長は「武蔵グループは、国内6つの生産拠点に加え、12か国17拠点でグローバルに展開している。九州武蔵精密としても、ホンダ関連だけでなく、国内の他のメーカーや海外のメーカーの部品も製造しており、経営強化に取り組んでいる。」と話されました。

今後も九州武蔵精密株式会社をはじめとする誘致企業との定期的な情報交換を行い、連携を図ってまいります。



## 議会トピックス

## 人吉下球磨消防組合議会議員研修

5月27日（水）から29日（金）の3日間、人吉下球磨消防組合議会議員研修が行われ、本町からは荒川孝一議員が参加。今回の研修先は、鹿児島県熊毛地区消防組合で、種子島、屋久島、そして大規模噴火した口永良部島を管轄している。研修最終日の29日、災害現場視察の移動中に新岳の大噴火が発生。一緒に移動中だった消防長も、急遽消防本部へと引き返され、緊迫した状況となったそうです。折しも、噴火警戒レベルをレベル3（入山規制）からレベル4（避難準備）への引き上げを検討されているなかでの大噴火だったそうです。今回の研修先での自然災害の突発性、危険性を目の当たりにし、「改めて危機管理の重要性を痛感した」とのことでした。



## 一般質問

## 町政の「じり」が聞きたい

9人が登壇  
(要約掲載)

## 肥薩線の世界遺産登録について



金山 民幸 議員

金山 本町も構成自治体となっている、肥薩線を未来につなぐ協議会が肥薩線の世界遺産登録とD51の復活を目指すとのことだが、遺産登録は国家的大事業と思うがどのような構想か。

総務課 登録に関する課題として、地域の意識啓発、鉄道遺産の調査研究、D51復活の署名運動、鉄道遺産の保存活用等を掲げ、課題解決には

肥薩線利用促進・存続期成会、国及び三県、JR九州等による連携協力体制が示されている。

金山 先に人吉球磨地域の文化財が国の遺産に認定され、国宝青井阿蘇神社と併せ地域にとっては、観光による地域活性化に大きく繋がるものと期待する反面、文化財の保護及び道路、駐車場等の環境整備には多大の経費がかかるのではないかと思っている。他にも人吉球磨地域は人口減少対策や医療、介護、就労、農業問題等が山積し、各自治体全力を挙げている状況にあるので、遺産登録については暫く控えてはどうかと思うが。

町長 遺産登録は人吉市の提言により沿線自治体から持ち上がったものである。世界遺産は文化遺産、自然遺産、複合遺産に分類され、現在、千七件が登録されている。遺産登録には長い歳月と膨大な経費が想定され霧島市が未加入で又、沿線

## 通学自転車購入助成と保険加入を

金山 保護者負担を軽減するために通学自転車購入助成は出来ないか。又、通学許可をする場合、保険加入の規定はあるか。

教育振興課 学校では2kmを超える生徒214名に自転車通学許可をしているが規程はない。購入助成は考えていない。

金山 自転車は5〜6万円するので購入時に経済的に悩まれる家庭があることも頭の隅に置いてほしい。又、自転車事故で加害者になった場合、多額の賠償額を求められる判決も出ているので、保護者の責任ではあるが保険加

入について周知することを要望しておく。

町長 26年度の決算状況を踏まえ少子、子育て対策についても専門の職員で研究調査を行うように指示している。小中学校入学時には保護者の負担が相当あることから、全体的な財政バランスの中で自転車購入助成等も含めた負担軽減を考慮することも考えている。



自転車保険への加入は？

## 空き家解消対策、どのような手段で取りかかる



市田 昇 議員

市田 町内における空き家の現状はどの様な状況か。

企画観光課 平成26年3月末、現在で185件である。その内、居住不可能な物件は、114件になっている。

市田 国も、今回、5月26日に、空き家対策特別措置法を施行したが、町として今後、どのような方向で対策を講じていくのか。

企画観光課 特別措置法の指針に基づき、住民にわかりやすい実施体制の整備を行ない、空き家等対策計画を策定し、総合的、計画的に実施していく。



このような状態になる前の対策が必要

市田 私は、今後、現在ある空き家が、廃屋にならない様、解消手段を講じていただきたいと思っている。地権者の承諾を得ながら、全国に発信し、不動産業者等との連携を強化し、頑張っていたいただきたい。町長の考えをお聞きたい。

町長 住める空き家が71件あるようなので、不動産関係者等への情報を提供しながら空き家解消に努めてい

く。又、実施計画書を作りながら、どのような事ができるか、示しながら進めていく考えである。

## 借りやすい、利用しやすい、区画農道整備が必要では

市田 中間管理機構における農地の集積実績は、どの様な状況か。

農林振興課 集積率については、48%である。

市田 小作料として物納ができない、又、賃貸期間が、10年と制約があり実績に影響したと思うが、どうか。

農林振興課 確かに影響している。今年度より物納が可能、賃貸期間が5年と緩和されたので、今後は中間管理機構だけでなく、農地法3条、経営基盤強化促進法による集積も含めて集積事業に取り組みしていきたい。

市田 前々から、申し上げている区画の拡幅



将来に向けた区画・農道拡幅整備が必要

及び、排水対策、農道整備について、今後、どの様に進めていくのか、町長の考えをお聞きたい。

町長 7月に九州農政局と、要望等の協議を予定しているので、この件についても、前向きに検討していく。※この他、竹林整備事業について、本年、説明会を開催する様、執行部に提案を致しました。

## 子育てを地域で助け合うファミリーサポートセンター設置



上村 辰生 議員

上村 町長の公約で少子・子育て支援対策として子育てを地域で助け合うファミリーサポートセンター設置を進めるとあるが経緯と設置時期は。

町長 前回、錦町の合計特殊出生率は2.08人で県下一位であった。理由は色々あると思われる。今回、産み育てやすい環境にこのファミリーサポートセンターを組み合わせることでよって緊急的保育を充実させようと計画を進めているところである。

住民福祉課 設置の意義としては地

域で安心して子供を産み育てることができる環境を整備し、子育て中の保護者の福祉増進と児童の福祉向上が図られることにある。町では設立に向けプロジェクトを発足し、内容を検討させており、設置時期等については答申を受け、協力会員の確保等諸条件が整い次第設置できればと考えている。

上村 子育てがしやすい社会であるためには、サポート事業を含め、きめ細やかな支援対策を望むものである。

## 住宅の耐震化について

上村 平成25年9月定例議会でも質問したが、戸建木造住宅の耐震化率を向上させるために耐震診断が受けられる制度が必要と思われるが、再度尋ねる。その後、町民の方からの問い合わせ等はあっているのか。

地域整備課 問い合わせ等はない。

上村 診断の結果によって耐震不足が明らかになれば、補強工事という意識づけになる。制度を創り町民の方に啓発することも必要ではないか。耐震診断補強工事等についての相談会を計画する考えはないか。

地域整備課 今後の検討課題だとは思っている。

## 下水道のマンホールふたの更新について

上村 下水道事業に着手して20年経過しているが、マンホールふたの耐用年数は約15年と認識しているが、ふたの更新はどうなっているのか。

地域整備課 現在施設の整備中であり平成28年度で、ほぼ完了する計画である。以降は維持管理が主になり、ふたの更新については、目視による点検等を行ないながら劣化が著しいところは交換していきたい。

## エレベーター設置の考えは

上村 木上小学校の大規模改修に併せエレベーターを設置する考えはないか。

教育推進課 木上小学校の大規模改修事業については老朽化対策として屋根・トイレ及び内装等の改修を行なう予定であり、現在のところエレベーター設置の考えはない。



エレベーターの設置が必要では？

## 人吉海軍航空隊 基地跡地について



久保田文男 議員

久保田 戦後70年と言う事で、新聞テレビ等で報道され注目をあびている、木上留木地区の加茂神社横にある防空壕の歴史と今後の活用方法について、町の考えは。

町長 戦後70年、戦争を知らない世代が8割強を占める今、過酷をきわめた戦争が風化していると思つている。悲惨な歴史を二度と繰り返さない為にも、この基地跡地を保存し、平和の尊さを子供や孫に伝えていかなければならない義務があると思つている。

久保田 テレビ、新聞等のメディアで人吉海軍基地跡地の報道がなされ、今後、見学者も非常に増えてく

## 老朽化した廃墟 の危険!!



柳瀬みどり 議員

柳瀬 6月12日、町内において老朽化した家が倒壊したという件からお尋ねします。今回の場合は家主の方がすぐに対応できたが、遠方の方への対処はどうされるのか。

企画観光課 それぞれの物件で台帳を作っているが、集計は行っていない。物件、物件で個別調査は可能なので空き家対策計画を策定する上で方針を決めて行きたい。

柳瀬 今回倒壊した空き家のそばに防火水槽があり、それがふさがっている。又、道に沿った家であつて一歩間違えば、道路側に倒れ、車の事故など大惨事になり得たかも知れない。



マスコミによる現地取材

熊本放送、熊日新聞社会同の「バスツアー」等も実施されているが調査を始めればかりで、所有者の確認や利用の承諾、安全面の確認などが必要になるので、これらを考慮しながら、今後検討したい。

久保田 職員6名により調査していると言ふ事だが、施設、防空壕が点在しているが、町としてどこまで確認されているか。

教育振興課 現在は、プロジェクトチームで資料等を取り寄せて、規模等の確認調査を行なっており、大体の把握はできているものの、完全な把握はできていない。

久保田 戦後70年と言う事で、子供達の歴史的財産、平和教育としての活用の考えはないか。

企画観光課 活用法については、プロジェクトチームの調査結果を踏まえて、今後検討したい。

久保田 この木上の飛行場跡地を含め、防空壕も全国的にこれだけの数、施設があるというのは、非常に珍しいと言ふ事で、現況は、よそから来られた方が、防空壕、記念碑の場所が全然わからないので、案内看板の設置の考えは。

町長 現状では、私は危険が伴うと思つている。もう少し時間をいただいて、しっかりとした対応の中で進めていきたい。

久保田 木上地区には人吉海軍航空隊跡地の飛行場、防空壕と戦争の歴史的遺産が残っているので、地域の方も非常に今後を期待をしておられるので前向きに考えてもらいたい。

い。前回は提案した遠方の持ち主の方へ写真を添えて状況を知らせることに加え、倒壊の事例や今後の考えなどアンケートなど含めて通知してはどうか。

町長 空き家であっても個人が管理しなければならぬことを抑えながら特定空家法という概念に基づいてしっかりと調査していく。遠方に住

まれている方は町にある家が今どういう状況になっているか恐らくわからないだろうと思う。写真等添えながらアンケートをとり調査していく。

## 百歳の方には敬意を表し 祝福を!!

柳瀬 今年、合併60周年であるが、それよりもはるか前にこの世に生を受けられ、戦前戦中戦後という時代を生き抜いてこられた町の為に一生懸命働いて来られた方々へのお祝いが祝い状とほるもん街道の商品券である。もう少し考えていただけないか。

町長 町民の方から我が家の家宝という意味で100歳の祝い状が欲しいとの声があり、祝い状と家族全員で食べていただくという意味で商品券にしている。

柳瀬 1歳、5歳一人の誕生日がある。

100歳の方個人を祝うのが祝い金ではないのか。2〜3万円の100歳の方への商品券を作っていただけなのか。そしたら食事だけでなく下着や服等を購入して祝つてあげられるものがあると思われるがどうか。

町長 戦前戦中戦後を生き抜いて町を支えていただいた方の100歳の祝い金をもう少し大切に考えてほしいと思ふ。

町長 100歳を過ごすためには、家族の愛がないことにはできない。家族で祝うというものがベストであり、みんなで祝うことに使つてほしい。今後、商品券のあり方については、しっかりと検討していく。

※他、子供をとり巻く環境の中で、郷土愛を持ち、育つ教育、町の慰霊祭等身近な事からの平和教育について質問しました。



倒壊した空き家

**明日も将来、  
10年後も同じ将来**



荒川 孝一 議員

荒川 森本町政3期目、町づくり理念公約を検討すると、町の単独事業オ리지ナルはなく、国の補助事業に沿っての生活支援事業が主なものではないか。2期8年間の町長に与えられた使命、財政再建は成果を上げられたが、3期目は思い切った錦町の将来を見据えた政策、森本色を持った政策を期待している。

町長 確かにファミリーサポートセンター事業等、国の補助事業でもあるが、私は国より先にこの支援策を温めてきた。又、今の時代において確かに派手さは、私の行政運営からすればないが、しかし、将来の人口



道路に覆い被さる迷惑な大木枝

ことに対して町長はどう臨むのか。  
町長 合併に関しては、球磨郡の首長の多くは拒否している。連携に関しては広域行政組合、消防組合とかの代表者を決めるにあたっては、新しい市長も私のところに何度も足を運んでいただいたり。そういう関係からすれば、一歩前進している感じはある。

荒川 確かに合併においては、メリット、デメリットを検証するとメリットが浮かび、将来の地域住民生活のメリット面が消されている。各市町村のリーダーは、人吉球磨はひとつと口を揃えながら、何も協議していないのではないかと急いで合

併しましょう。いやしないと決められ

れるものではない。又、住民の方々の理解もいる。合併をするという前提の協議会でなくとも、検証する協議会を考えていく時期にきたのではないか。

町長 どちらかと言えば、私は合併に対しては推進の立場ですつと来ています。ただ各首長に聞くと現時点では難しいという慎重な意見が多い。即々というわけにはいかないが、合併協議については町村会の中でも少しずつ出していけたらいいと思う。

荒川 明日でも将来、10年後も同じ将来、是非、人吉市を含めて協議を。

**町民の方の声から質疑**

荒川 「ゴミ収集所の設置増或いは戸別収集を検討すべき」これは高齢者のゴミ出しに対しての提案。

住民福祉課 ゴミ収集所へ持ち込みが困難な高齢者世帯が増えてきていることを考えると検討していかねればならない課題だと思っている。

荒川 「道路に覆い被さる大木枝の除去警告」の問題も提議しておきたい。

**錦町のシンボルとなりえる  
欄干のデザインを!!**



土肥 俊一 議員

土肥 錦大橋の欄干は、錦町らしいデザインはできているのか。

地域整備課 小中学校より80点の応募があつている。それを参考に本年度に具体的なデザイン案を幾つか作成したい。

土肥 工期を短縮するために予算補正もされている。それでも4年もかかる事業。欄干のデザイン等、早く決めないと予算的な問題もある。シンプルなものにも『錦らしさ』を強調してほしい。

町長 橋の軽量化と補強がテーマ。そこにシンプルさを求め経費を抑える。欄干も又同じだ。軽量化の中に

錦町の象徴的な『錦らしさ』を出す。ブロンズ像的なものも含め、工期短縮を進められる工程管理の中で仕事をしたいと思っています。

**南部広域農道とのアクセス  
で人を呼び込みたい**

土肥 大平溪谷キャンプ場へのアクセス道路として、林道横山大平線の整備は出来ないか。

企画観光課 林道横山大平線からキャンプ場への引込道路は傾斜が急なため、多額の整備費用を要する。利便性においても併用林道大平線を、これまで通り利用してもらいたい。

土肥 子供の頃、横山から大平へ、ウベやアケビ、コウジの実等を取りに行っていた。横山から元の大平集落を通ってキャンプ場まで、景観を楽しみながら歩いて行ける遊歩道的な整備は出来ないか。

企画観光課 県道等からの距離もあり、今は計画もないが、今後の状況を見ながら検討課題としたい。

町長 昔の段々畑から、そこに神社があつて、大きなイチヨウの木があり、丸太の木橋をこわごとと渡った思いがある。アドベンチャー的な考え方、フットパスの話もあるが、今後検討させてもらいたい。

土肥 南部広域農道が完成間近となり、大平溪谷も平成峠もアクセスがよくなる、平成峠への別府地区からの林道の整備と展望所からの眺望を遮る木の伐採は出来ないか。

農林振興課 林道は状況に応じながら整備していきたい。保安林でもあるので計画的な伐採を進めたい。

土肥 上大鶴地区にある水泳場だが、球磨川等で遊べなくなった今、子供達にとって自然の川で遊べる場所となっている。年々利用

者も増えており駐車場の整備が望まれているが。

町長 営林署で舗装はしてもらえない。駐車場だが、対岸の町有地はあるが遠廻りになる。どのような整備の仕方があるのか、検討してみたい。  
土肥 人に来てもらうには、道路整備と合せ駐車場も必要、前向きな検討をお願いしたい。



カップがデザインされている相良村の夫婦橋

## 錦町の防災対策は万全か



右田 宣之 議員

右田 近年国内においては、東日本大震災や昨年広島市で発生した土砂災害などで多くの犠牲者が出ている状況、自然災害はいつ、どこで発生するか予測がつかないので厄介。そこで錦町が作成し全戸に配布しているハザードマップは、あらゆる災害を網羅しているのか。

総務課 一般的なハザードマップで想定している災害は、暴風雨、豪雨、洪水、地震、津波などの自然災害で過去2種類作成し何れも全戸配布したが、今年度、当初作成した防災マップをリニューアルし全戸に配布する計画で、内容もより充実させたい。

右田 ハザードマップに避難所は明記されているが、錦町に最近転入して来た方には、名称だけではわかりづらい点があるのでは。そこで、避難所の写真を掲載してはどうか。

総務課 マップへの写真掲載については、スペースの問題もあるが検討したい。

### 自主防災組織の把握は確実か

右田 自主防災組織は、阪神淡路大震災を機に全国的に結成が進んだと聞いているが。

総務課 その通りで、この時、防災のため機能したのは、行政ではなく地域住民であったということが判明し、地域住民の自助、共助の営みこそが、緊急時に最大の効果を発揮するということ、組織育成が防災行政の重要項目に付せられた。

右田 その重要性を認識し、錦町には全26区に自主防災組織が結成されているが、各区長は、役員の交代時など組織図作成に大変苦慮されているので、組織図が有事の際、機能できるように、末端周知が図れるよう指導を強く望む。

### 町内危険箇所災害を想定した自主防災組織による防災訓練の実施を

右田 自分達の地域にこのような危険箇所があり、有事の際どのような行動をもって安全に導くかなど自分達で災害を想定し訓練を実施することは、地域住民が危機意識を共有することからも重要と考えるが。

町長 今年11月自主防災組織も含めたところで町の総合訓練の実施を予定している。その時は、代表分館が自主防災組織の中で訓練をすることになるが、それ以外の分館は、その当日独自で自主防災訓練をお願いする予定。

右田 災害に対する危機意識は絶対

必要であり、それらの地域に対しては日頃から嚴重警戒を呼びかけていただきたい。

ハザードマップに避難所の写真が必要では？



## 高齢者の生きがいがづくり支援は



守永慶次郎 議員

守永 高齢者の生きがいがづくり支援の現況はどうあるのか。

教育振興課 生涯学習の推進では錦いきいき大学で園芸、社交ダンス、カラオケ、太極拳、絵手紙、陶芸の6つの講座を開講している。スポーツの推進ではグランドゴルフ(225名)ゲートボール(46名)の会員が日頃各種の大会に参加している。

守永 6つの講座で何名程の受講があるのか。

教育振興課 60人から90人位だ。

守永 参加者が少ないが町の中央でやるのでなく、それぞれの分館単位という小さな集団でやるという

手もある。通学する足の問題もあるのでは。

教育振興課 講師の確保の問題もあるが各集団で対応できるならそれに越した事はない。応援をしたい。

守永 生きがいを感じる人はまず健康な人だと思う。そこで運動の推進はどうしているのか。

教育振興課 誰でも気軽にできる軽スポーツの普及が進んでいない。スポーツ推進員の活用をより図りたい。

健康保険課 生きがいがづくりや社会参加促進では各地区でいきいきサロンや地域の縁がわを実施している又、就労意欲のある高齢者はシルバー人材センターで働くことができる。

守永 生き生きサロンの月一回開催から複数回実施はできないのか。

健康保険課 運動機能回復、認知症予防等あらゆる面で効果的だがボランティア、キーパーソンの確保が難しい。縁がわ事業で補っていく。

守永 ボランティアポイント制度の普及が伸びていないが。

健康保険課 社会福祉協議会と連携し未登録者の解消に向け努力したい。

### 高齢者ペット飼育のサポートは

守永 ポイント額の限度額を8,000円に引き上げる考えはないか。

健康保険課 限度額到達者が3年間で延べ12名と少ない。ポイント付与の中身の検討が先決だと思う。

守永 一人暮らし高齢者のペット飼育が増加傾向にある。その問題点と対策をどう考えているか。

住民福祉課 認知症を患うことにより飼育の放棄、環境の悪化がある。

対策として人と動物の共存を福祉の一要素と掲げバックアップ体制を構築する必要があるので行政がどこまでサポートできるのか今後の課題だ。

守永 高齢者がペットを飼育することで

生きがいを持ち健康であり続けるなら行政のサポートは「ゆりかごから墓場まで」の言葉どおり、これまで以上に関与すべき時代が訪れていると思う。



愛犬と一緒に、早朝ウォーキング

# 議会のうごき

## 4月

1日	・錦こども園開園式並びに入園式 ・一武保育園入園式 ・全員協議会	10日	・定例郡議議会 ・球磨郡監査委員協議会定期総会
5日	・錦町消防団入退団式		・広報特別委員会
8日	・球磨商業高校入学式	14日	・例月出納検査（～15日）
9日	・町内各小学校入学式 ・錦中学校入学式	15日	・錦町商工会青年部通常総会
		17日	・広報特別委員会
		24日	・広報特別委員会

## 5月

1日	・全員協議会	22日	・県町村議会議長研修会
10日	・分館対抗ソフトボール大会	24日	・剣豪「丸目蔵人」顕彰少年剣道選手権大会
11日	・春の全国交通安全運動出発式	25日	・人吉下球磨消防組合議会臨時会
12日	・球磨地域振興局幹部との懇談会 ・例月出納検査（～13日）	26日	・全国町村議会議長・副議長研修会（～27日）
13日	・国道219号整備改良促進期成同盟会総会	27日	・人吉下球磨消防組合議会議員研修（～29日）
14日	・定例郡議議会	29日	・人吉球磨広域行政組合議会臨時会
17日	・錦中学校体育大会	31日	・西小学校運動会
19日	・錦町商工会通常総会		
20日	・錦町慰霊祭		

## 6月

1日	・全員協議会	15日	・平成27年第2回定例会（～22日）
2日	・県町村議会議長会臨時総会	23日	・例月出納検査（～24日）
4日	・定例郡議議会	28日	・松田三郎氏県議会議長就任祝賀会
8日	・議会運営委員会		
11日	・九州武蔵精密（株）工場視察		

## 傍聴席から一言



上野 修さん  
(錦町民生児童委員)

去る6月19日に傍聴した。午後の質問事項は錦町の防災対策の確認で、ハザードマップや自主防災組織、防災訓練の質問、次の高齢者の生き甲斐では、現況と独り暮らしとペットの処遇、最後のファミリーサポートセンター事業では事業内容や実施がない理由、実施と課題について行なわれた。各議員の質問に対し町長、役場幹部の方々が対応し、質疑が淡々とスムーズに進み、予定時間の60分以内で終了した。錦町議会の質問内容は重複する案件もあったが全体的に、高齢者対策、生活環境、障害者対策、安全と福祉、防災や青少年健全育成等、多岐に至り良好でした。今後は共通の議案は事前に調整し、各議員の案件についても共通理解と共同歩調で臨み、議会の更なる進歩、発展を期待しています。

## 軌跡

梅雨という言葉だけを聞いただけで、うっとうしい気分になり嫌な時季が来たなという感じになってしまいましたが、今年も6月2日に梅雨入りが発表され、そのあと連日のように雨続きで、例年ですと数日間は中休みがあつて晴れ間も見えるのですが、今年は傾向が違ふようです。その関係で、農家に至っては、長雨と日照不足が災いし、葉たばこ、果樹、水稲、野菜などかなり影響が出ているようで関係者の方々の落胆の様子を伺うたびに心が痛みます。収穫までの過程が大変なだけに、自然を相手だからだけでは済まされない状況ではないでしょうか。特に「食」に関する物が多いだけに事は重大です。それだけに、行政をはじめ関係機関及び団体の支援を期待するばかりです。

(文責 右田 宣之)



### 【広報特別委員会】

委員長 市田 昇  
副委員長 柳瀬みどり

委員 守永慶次郎  
金山 民幸  
右田 宣之  
税所 隆則